

単元名	算数の じゆう けんきゅう	配当時間	1 時間
単元の目標	(1) 線路をつないで図形が構成できるきまりを理解し、線路のつながり方に着目して、適切な線路の模様をつくることができる。 (2) 線路のつながり方に着目して、図形が構成できるきまりを考えることができる。 (3) 線路づくりに興味をもち、進んで取り組もうとする。		

標準的な展開例

02040112_001

【準備等】線路のカード

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
1 線路のかかれたカードを組み合わせて、つながった線路をつくる。[p. 98・p. 99] o 本時の学習課題をつかむ。 ★せんろづくりのじゆうけんきゅうをしてみよう。 o つなぎ方の示された線路をつくる問題に取り組む。 o ほかにもいろいろな線路をつくる問題に取り組み、発表する。	・ 児童の発想を生かし、自由に取り組ませる。 ・ 線路の絵のついたカードを見せ、つなぎ方のきまりを確認する。 ・ つなぎかたの例を示し、少ない枚数でできるものから順に取り組ませる。 ・ 床で取り組ませるなど、児童が活動しやすい場の工夫をする。 ・ 発表会を開いてもよい。 【評】いろいろな線路をつくる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】
本単元は、算数の自由研究のきっかけづくりに主眼を置き、本格的には長期休業中の家庭学習の一環として数量や図形に関する課題の中から、興味のある課題を見付けて児童が自ら探究することをねらいとする。
ここで示されている「せんろづくり」では、楽しみながら取り組む中で、図形的な直観力を育てたい。